

2022年6月20日

野口 聡一宇宙飛行士 「カップヌードルミュージアム」の名誉館長に就任

「カップヌードルミュージアム」(正式名称:安藤百福^{あんどうももふく}発明記念館)の名誉館長に、野口 聡一^{のぐち そういち}宇宙飛行士が2022年6月7日(火)に就任したことをお知らせします。



野口 聡一 名誉館長

3度の宇宙飛行を経験した野口 聡一氏は、『次世代を担う子どもたちに夢を与える仕事をしたい』との思いを持っています。その思いは、安藤財団創設者・安藤百福が抱いていた『子どもたちに発明・発見の大切さを伝えたい』との思いを具現化する場である「カップヌードルミュージアム」の設立趣旨に合致することから、この度の名誉館長就任に至ったものです。「カップヌードルミュージアム」では、今後、野口 聡一名誉館長による、子ども向けセミナーなどを実施する予定です。

■野口聡一名誉館長のコメント

私が生まれた街、横浜にある「カップヌードルミュージアム」の名誉館長に就任させていただくことになり、とても光栄です。発明や発見の楽しさ、食の大切さ、そして夢に向かって自分で考える姿勢を、子どもたちと一緒に学べる場にしていきたいと思っています。

■野口聡一名誉館長略歴

1965年4月	神奈川県横浜市生まれ
1991年3月	東京大学大学院工学系研究科航空学専攻修士課程修了
1991年4月	石川島播磨重工業株式会社(現IHI)研究開発部入社
1996年6月	宇宙開発事業団NASDA(現宇宙航空研究開発機構JAXA)入社
1996年8月	米国航空宇宙局(NASA)ジョンソン宇宙センター勤務
2005年7月	スペースシャトル「ディスカバリー号」によるSTS 114 ミッションに参加
2009年12月	日本人初のソユーズ宇宙船フライトエンジニアとして、ソユーズTMA 17 宇宙船(21S)に搭乗。国際宇宙ステーションISS第22次/第23次長期滞在クルーのフライトエンジニアとしてISSに約5カ月半滞在
2014年9月	国際NGO法人「世界宇宙飛行士会議」会長にアジア人で初めて就任
2020年11月	クルードラゴン宇宙船運用初号機(Crew 1)に搭乗、約5カ月半、第64次/第65次長期滞在クルーとしてISSに166日間滞在
2021年7月	「世界で初めて3種類の違う帰還(滑走路、地面、海面)を達成した宇宙飛行士」としてギネス世界記録に認定
2021年12月	東京大学先端科学技術研究センター特任教授就任
2022年6月	「カップヌードルミュージアム」名誉館長就任